

高血圧症の治療状況によって特定健診の結果が変わるか？

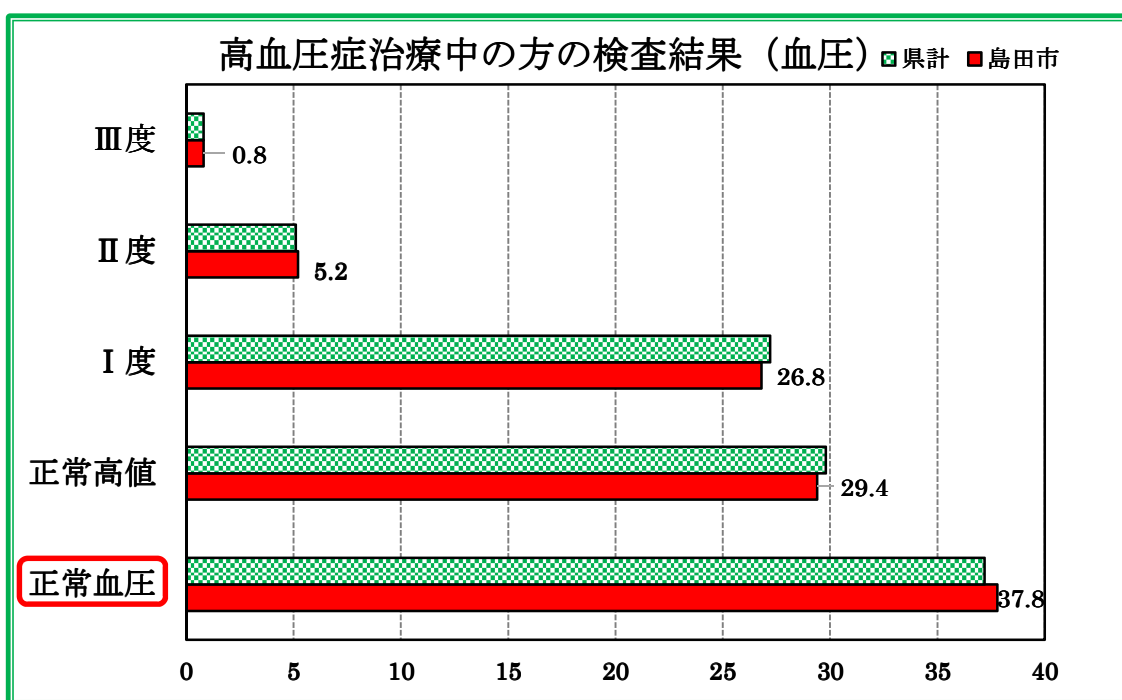
平成 26 年度の特定健診の血圧の検査項目について、該当者の割合を数値別に静岡県と比べます。

※高血圧症の治療の有無別に静岡県と比べます。

☛高血圧症治療中の方で県と比べて最も割合の高い数値区分
正常血圧

☛該当者の割合は全体的に県と同程度です。

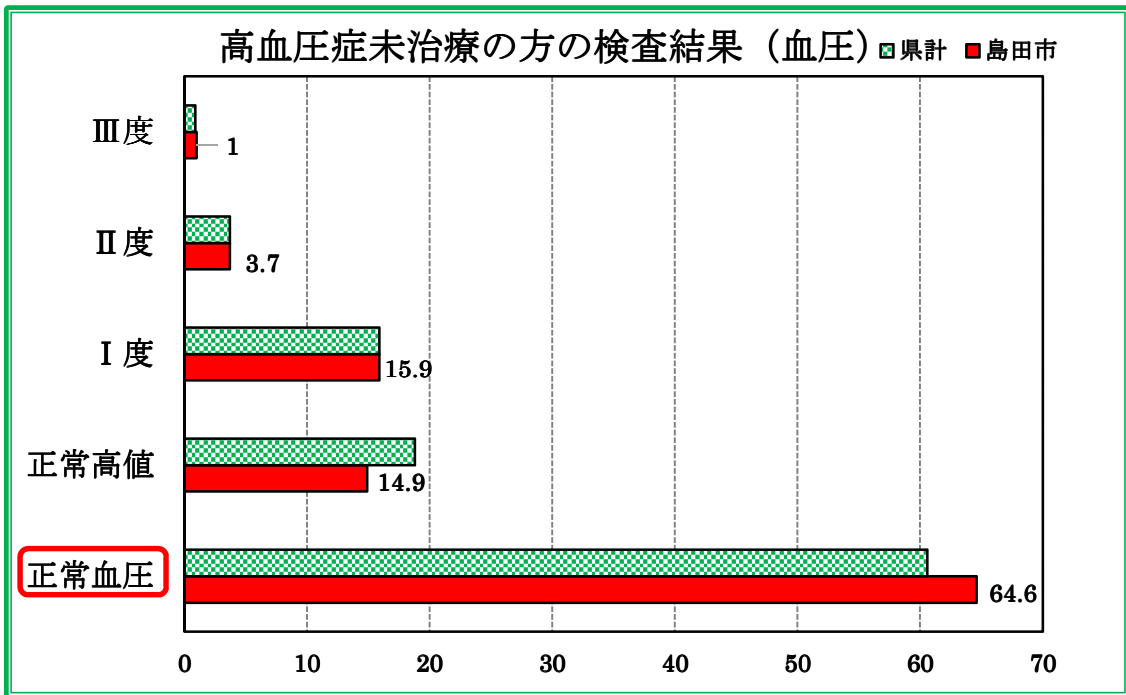
☛次に高血圧症未治療の方の検査結果を比べます。



しずおか茶っとうシステム（医療費分析システム）より 以下全て同じ

※各区分の該当数値は以下のとおりです。（Ⅰ～Ⅲ度が高血圧の区分です。）

区分	数値
正常血圧	収縮期 129mmHg 以下、拡張期 84mmHg 以下
正常高値	収縮期 130～139mmHg、拡張期 85～89mmHg
Ⅰ度	収縮期 140～159mmHg、拡張期 90～99mmHg
Ⅱ度	収縮期 160～179mmHg、拡張期 100～109mmHg
Ⅲ度	収縮期 180mmHg 以上、拡張期 110mmHg 以上



- ☛ 高血圧症未治療の方で県と比べて最も割合の高い数値区分
正常血圧
- ☛ 該当者の割合は全体的に県と同程度です。
- ☛ 高血圧症治療中の方と比べると、正常高値とⅠ度の割合が低く正常血圧の割合が高くなっています。